UEC TOKYO

国立大学法人

電気通信大学

情報理工学域 先端工学基礎課程

夜間主4年制
学生募集
定員30名

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス	
7月 1日(土)	第1回先端工学基礎課程説明会
7月 3日(月)～8日(土)	授業聴講ウィーク
7月16日(日)	第1回全学オープンキャンパス
9月30日(土)	第2回先端工学基礎課程説明会
10月2日(月)～7日(土)	授業聴講ウィーク

授業の聴講は、説明会で事前登録した方のみ参加できます。

詳しくはホームページへ

こんな人が対象です

社会人として働きながら夜間・土曜日に大学で学びたい人、たとえば、社会人として勤務しているが、最新の IT や理工系の基礎から応用までをしっかりと学びたい人。

現在高校生であり、経済的事情により高校卒業後は定職につく必要があるが、働きながらも大学で学びたい人。

本課程の特徴

- 情報系とものづくり系の専門科目を広く学べる
- 東京の新宿副都心から**電車で15分、駅から徒歩5分**のアクセス（京王線調布駅から徒歩5分）
- 初年度納付金は**昼間コースの半額**（408,900円）
- 長期履修制度により、働き方に合わせて卒業まで**最長で8年間在籍可能**
- **卒業研究や大学院**への進学も可能なカリキュラム
- **昼間コースの授業も受講可能**（一定の条件が必要、30単位まで）
- **異分野の社会人**との交流

入試方法（AO入試）

- **総合問題試験（ペーパーテスト）** 数学、理科、英語
- **面接試験**（あなたの熱意と将来のキャリアプランを語ってください）

在学生から一言

私は大学卒業後、企業勤務及び翻訳者を経て弁理士になりました。特許翻訳をするために電気の勉強をしていましたが、知識が断片的なものとならざるを得ず、常に不安を払拭できず独学の限界を感じていたため、進学を決意しました。本課程の魅力は、講義配信システムや長期履修制度等、仕事と勉学を両立しやすい環境が整っている点です。また、しっかりとカリキュラムが組まれているため、積み上げ学習ができ、電気を体系的に理解することができる点です。さらに、様々な研究室が有り、選択肢が多いので、自分の可能性を広げることができる点です。共に学ぶ仲間との出会い、数ヶ月毎に感じられる自分の頭の中の変化等、多くの喜びと刺激を得られる環境に感謝しています。

（社会人コース4年　加藤智恵）

入試日程：11月20日（月）総合問題試験・11月21日（火）面接試験

お問い合わせ先　先端工学基礎課程事務室　TEL.042-443-5957
（平日14時～20時）

100th ANNIVERSARY SINCE 1918

人工知能
VR IoT
音響　ソーシャルメディア

宇宙
科学

研究大学
強化促進事業に採択

情報通信
ネットワーク

創立100周年

顔認証

材料
工学

経営データ
サイエンス

流体

国立大学法人
電気通信大学

OPEN CAMPUS 7/16 SUN AM10:00-PM 5:00(予定)

オープンキャンパスプログラム

大学説明会（午前／午後）・研究室公開・模擬講義・個別相談会 ほか…

ロボティクス
医療福祉工学

国立大学
東京都調布市

創薬システム
バイオテクノロジー

再生可能
エネルギー
燃料電池

女子学生への
支援充実

新キャンパス

楽力

ラボサーチ
研究室検索サイトへ GO!

レーザー
太陽光発電

就職率
トップクラス

ビッグ
データ

事前
申込

参加を希望される場合は、同伴者の方も含めて全員の方の事前申し込みを左の QR コードからお願いします。
当日、受付でお申し込みもできますが、事前に申し込みいただくとスムーズに入場できます。

□お問い合わせ先　国立大学法人 電気通信大学【総務課広報係】〒182-8585 東京都調布市調布ケ丘1-5-1
TEL:042-443-5019　e-mail:kouhou-k@office.uec.ac.jp　http://www.uec.ac.jp

電通大　オープンキャンパス　検索

創立100周年記念 電気通信大学公開講座 参加者募集

－超スマート社会の実現を目指す最先端の科学・技術研究－

電気通信大学は2018年に創立100周年を迎えます。この記念事業のひとつとして、2017年6月から全6回の公開講座を、4月に開設したばかりの100周年キャンパスで実施いたします。
講師はいずれも科学・技術の各分野の第一線で活躍する電気通信大学の研究者で、必要なモノ・サービスが情報理工学によってもたらされ、人々が活き活きと快適に暮らすことのできる「超スマート社会」の実現を目指すための最先端の科学・技術について分かりやすく解説し、未来社会も展望します。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【2017年度　講座一覧(予定)】

	日程	担当教員	テーマ(タイトル)	主な対象者
第1回	6/17(土) 14:00～15:30	髙玉 圭樹 教授	人工知能の次は何か？ 宇宙システムからヘルスケアまで、今までの常識の変革に迫ります	高校生 及び一般の方
第2回	7/29(土) 14:00～15:30	前川 博 教授	21世紀スマート輸送機器開発をめざしています －課題解決型研究の展開－	教員 及び一般の方
第3回	8/5(土) 14:00～16:00	鈴木 勝 教授	ナノトライボロジーで超低摩擦をめざします	女子生徒 及び一般の方
		田仲 真紀子 助教	光でDNAを調べる、操作する －超スマート社会における個別化医療にむけて－	
第4回	9/9(土) 14:00～15:30	山尾 泰 教授	社会に拡がるワイヤレス通信技術を解説します －IoT、ITS、RF-ID、スマートデバイス、5G－	企業 及び一般の方
第5回	11/18(土) 14:00～15:30	稲葉 敬之 教授	安全運転支援や自動運転を実現するための認知手段である電波センシング法を解説します	高校生 及び一般の方
第6回	1/20(土) 14:00～15:30	南 泰浩 教授	人が言葉を覚える仕方と人工知能が言葉を覚える方法についてお話します	高校生、企業 及び一般の方

参加方法

参加は無料。どなたでも入場できますので、会場まで直接お越しください。右のQRコードから事前申し込みいただくとスムーズに入場できます。4回以上出席した方には修了証を発行します。

会 場

電気通信大学 100周年キャンパス
UECアライアンスセンター1階「100周年記念ホール」
東京都調布市小島町1－1－1

時 間 14:00～15:30(8月5日は16:00終了予定)

問い合わせ先

電気通信大学 総務課広報係
TEL.042－443－5019
Email:kouhou-k@office.uec.ac.jp

開催予定や会場などは変更される場合があります。その場合には電気通信大学のホームページ（http://www.uec.ac.jp/）にてお知らせいたします。

[交通案内]
京王線調布駅中央口より
徒歩8分

100th ANNIVERSARY SINCE 1918　UEC TOKYO　国立大学法人 電気通信大学

福田　喬
電気通信大学長

本学は、前身の無線電信講習所の創設から数えて、来年2018年に100年の節目を迎えます。この間、社会・経済の発展と高度情報化社会の進展に合わせて、専攻分野を拡充して参りました。今では、情報・電気・通信を中核としつつ、メディア、ロボティクス、人工知能、物理工学、光科学、脳科学など、情報理工学全般の基礎から応用に至る広範な分野で実践的な教育と研究を行っており、社会に向けた新しい価値の創造とそれを担うグローバルでイノベーティブな人材の育成に努めています。
本講座のテーマに掲げる『超スマート社会』とは、昨年初めに政府が定めた平成28年度からの5ヶ年をカバーする第5期科学技術基本計画において提起されたもので、『目指すべき未来社会』のことを指しています。『必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会』を意味しています。
本講座では、情報理工学分野を牽引している本学の精鋭が、この『超スマート社会』を世界に先駆けて実現するために取り組んでいる最先端科学・技術研究の一端を、高校生の方、一般の方、さらに企業の方に向けて分かり易く解説します。お楽しみください。

講 座 担 当 教 員

髙玉 圭樹（たかだま けいき）教授
専門は人工知能。人間の知能を超え、社会にとけ込む人工知能技術に興味がある。具体的には、機械学習や分散協調システムを研究するとともに、ロボット、宇宙、交通、介護・医療、教育などのさまざまな分野に応用している。例えば、人工衛星、航空機スケジュリング、交通網最適化、プリント基板配置、睡眠、推薦システムなどがある。また、2010年に小型人工衛星を打ち上げている。著書に「マルチエージェント学習 －相互作用の謎に迫る－」（コロナ社）がある。

前川 博（まえかわ ひろし）教授
東京大学大学院博士課程修了後、米国NASAエイムズ研究所、スタンフォード大学において理論及び計算流体力学について学び、ポアチエ大学（仏）で流体実験法を経験した。高速流体熱現象を支配する非線形偏微分方程式に対する堅牢な高解像度計算法は、現在、JAXA、NASAやスタンフォード大学等国内外の研究者に使用されている。次世代の航空機や新幹線等の輸送機器への応用を目的とした、理論、計算及び実験的アプローチによる課題解決型基礎研究を展開する。

鈴木 勝（すずき まさる）教授
専門は物性物理学、特に原子スケールの摩擦の実験的研究。摩擦現象は物理学の誕生以前から研究が行われた課題であるが、原子スケールほどの小さな領域での摩擦現象は日常的なスケールでの摩擦現象とは異なることが明らかになり関心が集まっている。現在、新しく開発した原子スケールの摩擦の測定技術を使って摩擦の基本的メカニズムの理解と制御の研究に取り組んでいる。

田仲 真紀子（たなか まきこ）助教
専門は光化学、バイオ関連化学。光による新たな分離分析法の開発や光合成モデル系の電子移動化学の研究経験などもあり、2007年に学位を取得。その後カリフォルニア工科大学にてDNA内の電子移動の研究に着手する。帰国後には大阪大学、日本大学、筑波大学で様々なアプローチからDNAの関連する研究を続け、2016年より現職。現在は特に生体内環境でのDNAの損傷、機能探索、光操作について興味を持っている。

山尾 泰（やまお やすし）教授
先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター長。40年に渡り、企業および大学でワイヤレス通信の電波伝搬、高周波回路、変復調・信号処理から方式全般までの幅広い工学上の研究開発に従事。大学では総務省・企業を始めとした多数の産学官連携プロジェクトに参加。最近は特に第5世代モバイルとITS（高度道路交通システム）をキーワードとして、ヒトとヒトとの通信から、モノとモノの通信へと新たな技術の世界を切り拓いている。

稲葉 敬之（いなば たかゆき）教授
電波を用いたリモートセンシング（いわゆるレーダ）を研究開発している。レーダは無線通信と同様に1887年ヘルツの実験を起源として発展し、気象観測・航空管制などに利用されてきた。一方近年、自動運転等のためのセンサとして注目されている。同じ電波を用いる移動端末のようにレーダが広く身近で活躍することを願っている。

南 泰浩（みなみ やすひろ）教授
1991年NTT入社、以来、23年、音声認識、音声対話の研究に従事、この間、米国MITにて客員研究員として1年勤務し、音声による天気案内システムを構築。帰国後、知能が環境のいたるところに存在する環境知能のコンセプトを提案。このころより、音声認識の性能向上に疑問を持ち、人間の知能、特に、幼児の語彙発達に関する研究を開始。2014年6月より電気通信大学勤務、ロボットは東大に入れるかプロジェクトに参加、2014年、参加した英語チームが英語センター試験において偏差値50を超える成果を達成。現在もこのプロジェクトに取組中、趣味は、サッカー、テニス、スキー。